

食品ロス削減運動の今後の取組方向について

食品ロス削減運動を一層推進するため、現状を踏まえて今後の取組みの方向性を検討する。

<現状>

富山型の食品ロス削減運動として「3015 運動」を展開

①家庭系：使いきり（手付かず食品の削減）の実践を促進

【ロスゼロウィーク県民チャレンジ、サルベージ・セミナーの開催支援、食材使いきりコンテストなど】

②事業系：商慣習の見直し(1/3 ルールの緩和等)に関する働きかけ

【検討委員会の開催、検証事業、アンケート調査の実施】

小売店での食品ロス削減の推進

【期限間近商品の優先購入キャンペーン、モデル活動の支援】

食べきり(食べ残しの削減)の推進、飲食店での食品衛生管理の徹底

【食べきり 3015 のPR、食べきりサイズメニューの導入促進、研修会】

③リサイクル：食品製造残渣をエコフィードに有効活用するマッチング、施設整備支援

④周知啓発：Web サイト、シンポジウム、講演会などを通じた啓発

<今後の取組方向(検討案)>

①家庭系：一定期間、使いきりを実践し食品ロス発生量を記録する取組み
県内各地でサルベージ・パーティが開催される仕組み
若者世代が関心を持つ取組み

②事業系：商慣習の見直し(1/3 ルールの緩和等)

・消費者と事業者との連携協力体制の確立

・取組事業者の拡大に向けた取組み

・消費行動の改善に向けた取組み

事業者による自主的な食べきりの呼びかけなど食べきり 3015 の推進
食品衛生法改正に伴う衛生管理の対応の周知

③リサイクル：エコフィードに対する認知度向上・理解促進に向けた取組み
食品製造残渣の円滑な利用促進に向けた取組み

④周知啓発：食品ロス問題の認知度向上を図り、消費行動の改善のためのマスコミ
と連携した県民への啓発
各種機会を捉えた「3015 運動」の普及